# ファイナルレポート

国際コンポーネント・システム・アプリケーション専門見本市
2022 年 11 月 15 日～18 日
メッセ・ミュンヘン

2022 年 11 月 18 日

## electronica 2022 は、エレクトロニクス業界の世界有数のビジネスプラットフォームとして、その地位を強く印象付ける

**Summary**

- 出展者 2,144 社がエレクトロニクスの全領域にわたって紹介
- 世界各国から約 7 万人が来場
- 出展者と来場者の満足度が過去最高を記録

**Facts＆Data**

| | |
|---|---|
| 会　　期 | 2022 年 11 月 15 日（火）～18 日（金）<br>午前 9 時～午後 6 時（最終日のみ午後 5 時まで） |
| 会　　場 | メッセ・ミュンヘン |
| 主　　催 | メッセ・ミュンヘン（Messe München GmbH） |
| 規　　模 | 全 14 ホール（2018 年：全 17 ホール 182,000 ㎡） |
| 出　展　企　業 | 48 カ国から 2,144 社（2018 年：53 カ国から 3,124 社） |
| 来 場 者 総 数 | 100 カ国から 70,000 人（2018 年：101 カ国から 81,471 人） |
| 専　門　分　野 | エレクトロニクス、電子工学 |
| 主 な 出 展 品 | 半導体、エンベデッドシステム、ディスプレイ、マイクロナノ・システム（MEMS、マイクロ製造）、センサー技術、検査・測定技術、電子設計（ED/EDA）、受動部品、電気機械技術/システム/周辺機器（スイッチ＆キーボード、配線部品/システム、ケージング技術）、パワーサプライ、プリント基板・その他回路基材、受託製造サービス（EMS）、アセンブリ/サブシステム、オートモーティブ・エレクトロニクス、ワイヤレス技術、情報収集システム<br><br>対象業界：産業電子機器、オートモーティブ、鉄道技術電子機器、通信（有線）、無線、家電・娯楽製品、その他民生電子機器、事務・情報処理機器、医療電子技術、航空・宇宙・軍事用電子機器 |
| 専　用　U R L | www.electronica.de （英語 / ドイツ語） |

**メッセ・ミュンヘンの 14 のホールがビジネスの活気に溢れ、明るいムードに包まれた。11 月 15 日から 18 日まで、メッセ・ミュンヘンで開催された electronica 2022 では、世界各国のエレクトロニクス業界が再び一堂に会した。2,144 の出展者（その 64%はドイツ以外の国から）は、この世界有数の見本市で、エレクトロニクスの全領域にわたるイノベーションを、およそ 7 万人の来場者に紹介した。今回も 1.5 ホールほどのスペースで SEMICON EUROPE が併催された。会期中、会議やフォーラム、CEO ラウンドテーブルなどの併設プログラムで見本市の焦点となるトピックが話し合われた。プログラムの主なテーマは、エネルギー転換、サプライチェーンのボトルネック、原材料の不足、熟練技術者の不足など、現在のグローバルな課題であった。**

主催メッセ・ミュンヘン CEO のラインハルト・ファイファーは、「electronica 2022 は、世界をリードする見本市としての地位を確立し、ミュンヘンこそが世界のエレクトロニクス産業にとっての見本市の場であることを再び証明した」と総括し、「来場者数が過去最高だった 2018 年をわずか 14%下回っただけであったこと、そして、海外からの来場者の割合が前回を上回って 54%に上ったことなど、このご時世に素晴らしい結果が得られたことを嬉しく思っている。さらに、民間の調査会社の調査によると、出展者と来場者の electronica 2022 に対する満足度は、過去に開催されたいずれの回よりも高いという結果であり、大変嬉しく思う」と話した。

ドイツ電気電子工業連盟（ZVEI）会長の Gunther Kegel 氏は、electronica が今年もエレクトロニクス業界における世界有数のビジネスプラットフォームとしての役割を果たしていると強調して、「4 年ぶりにミュンヘンに戻ってきた electronica は活気に満ちており、ブースを訪れた多くの人と商談が重ねられ、また、多くの新しいビジネスコンタクトが生まれる場となった。見本市会場で実際に顧客やパートナーと会って話ができることは、ほかには代えられないものであることを改めて実感できた」と語った。

**対面での見本市の必要性を再確認**

electronica アドバイザリーボード会長で HARTING Technology Group 社 CEO の Philip Harting 氏は、「今年の electronica にはかつてないほど多くの国からの出展、来場があり、とても国際的だった。また、顧客との商談が今回ほど具体的だったことはなく、来場者のターゲットがこれほど明確だったこともない。次回 electronica 2024 の開催を今から楽しみにしている」と述べた。

electronica エキシビション・ダイレクターのカティア・シュトレは、「出展者は、来場者の多くが意思決定者レベルであるという質の高い顧客との商談とその結果の両方に大変満足していた。会場内を歩いていると、業界の皆が直接会って話せる機会をいかに待ち望んでいたかを実感できた」と話した。

**CEO ラウンドテーブル**

今年も開幕前日の 11 月 14 日に半導体業界のトップによる CEO ラウンドテーブルが開催された。

STMicroelectronics 社の Jean-Marc Chery 氏、Infineon 社の Jochen Hanebeck 氏、Wolfspeed 社の Gregg Lowe 氏、NXP Semiconductors 社の Kurt Sievers 氏が参加し、業界が直面しているグローバルな課題やオール電化社会の将来像などについて話し合われた。また、現在の大きな課題であるサプライチェーン問題、原材料の不足、熟練技術者の不足を抱える中で、イノベーションの必要性を見失わないことがいかに重要であるかを強調した。

**将来のトピックスを探る併設プログラム**

今回の electronica でも、多くの会議やフォーラム、そして出展者による講演が行われ、エレクトロニクス業界が今正に直面しているトピックや課題がテーマとして取り上げられた。見本市会場の展示だけでなく、会議やフォーラムでの議論を通して、electronica は持続可能な技術の推進役として重要な役割を担っていることが具体的に示された。そして、熟練技術者不足問題に対処するために、若い人たち、特に女性にもこの業界に興味を持ってもらうことを目的として、会場では、採用活動や学生デーなど、出展者と就職希望者を結ぶ交流会といった様々なキャリアに関する取り組みが行われた。また、選出されたスタートアップ企業がイノベーション技術を発表する場として Fast Forward プラットフォームを設け、若い才能の伸長にも力を入れた。

**同時開催：SEMICON Europa**

今回も electronica と併催して SEMICON Europa が開催され、多くの半導体製造のソリューションと製品が紹介された。SEMI ヨーロッパ会長の Laith Altimime 氏は、「今年の SEMICON Europa は electronica との戦略的なコラボレーションにより、欧州及び世界のエレクトロニクス業界のイノベーションと成長に欠かせないマイクロエレクトロニクスのトレンドを発表する場を提供することができた。今回、出展スペースは全て早期に埋まり、来場者数は過去最高となった。SEMI は今年の結果に沸き立っている」と述べた。

**数字で見る electronica 2022**

出展者数は 48 カ国から 2,144 社（2018 年は 53 カ国から 3,124 社）で、その 64%（2018 年は 70%）はドイツ国外からの参加であった。また、4 日間の会期中におよそ 100 カ国から約 7 万人（2018 年は 101 カ国から 81,471 人）が来場した。ドイツ国外からの来場者の割合は全体の 54%（2018 年は 50%）。
ドイツに次いで来場者の多かった国は順に、イタリア、オーストリア、フランス、イギリス、スイス、アメリカ、イスラエル、スペイン、トルコ、スウェーデンであった。

次回の electronica は 2024 年 11 月 12 日から 15 日、ドイツ・ミュンヘンにて開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページ www.electronica.de をご参照ください。

electronica 2022 主な日系出展社（50 音順）

愛知製鋼㈱、旭化成エレクトロニクス㈱、イリソ電子工業㈱、岩崎通信機㈱、㈱大貫工業所、オムロン㈱、釜屋電機㈱、㈱キーエンス、菊水電子工業㈱、北川工業㈱、九州電通㈱、京セラ㈱、コーア㈱、コーセル㈱、SCIVAX㈱、サガミエレク㈱、サンユー工業㈱、サン電子工業㈱、JX 金属㈱、シチズン電子㈱、シチズンファインデバイス㈱、㈱芝浦電子、進工業㈱、スタンレー電気㈱、スミダコーポレーション㈱、セイコーエプソン㈱、セミテック㈱、ソニーセミコンダクタソリューションズ㈱、第一精工㈱、㈱大真空、太陽誘電㈱、タカヤ㈱、㈱多加良製作所、立山科学工業㈱、㈱タムラ製作所、㈱チップワンストップ、TDK㈱、TDK ラムダ㈱、東北大学マイクロシステム融合研究開発センター、㈱東芝、トレックス・セミコンダクター㈱、DOWA ホールディングス㈱、ニチコン㈱、日清紡マイクロデバイス㈱、㈱ニッポンインダストリーズ、日本ケミコン㈱、日本航空電子工業㈱、日本紙パルプ商事㈱、日本ガイシ㈱、日本特殊陶業㈱、日本発条㈱、㈱日本ファインケム、ハギワラソリューションズ㈱、パナソニックインダストリー㈱、浜松ホトニクス㈱、ヒロセ電機㈱、ベリフィケーションテクノロジー㈱、宝商㈱、マルチ計測器㈱、㈱村田製作所、名阪真空工業㈱、㈲メガテック、山一電機㈱、㈱ヨコオ、横河電機㈱、利昌工業㈱、ルネサス エレクトロニクス㈱、ルビコン㈱
ほか

SEMICON EUROPA 2022 主な日系出展社（50 音順）

旭ダイヤモンド工業㈱、アルバック機工㈱、㈱荏原製作所、樫山工業㈱、㈱キッツエスシーティー、㈱クリエイティブテクノロジー、サムコ㈱、㈱テクニスコ、東レエンジニアリング㈱、東レエンジニアリング先端半導体 MI テクノロジー㈱、㈱ニコン、日本電気硝子㈱、日本電子㈱、パナソニック コネクト㈱、浜松ホトニクス㈱、㈱フジキン、富士フイルム エレクトロニクスマテリアルズ㈱、㈱堀場製作所、三井情報㈱、三菱ケミカル㈱、㈱ヨコオ、理研計器㈱　ほか

資料請求、各種お問い合わせ先：
株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン
〒105-0001　東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階
Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584　e-mail: info@messe-muenchen.jp
URL: www.messe-muenchen.jp （日本語）www.messe-muenchen.de （英語 / ドイツ語 ）